

教育部

組織目標



教育部は、教育総務課（学校統合調整室）・学校教育課（教育センター）・学校給食課（学校給食センター）・社会教育課（公民館）・博物館・図書館で構成し、学校教育、社会教育に関する施策に取り組んでいます。

教育部の目標（令和8年度）	教育部長 浅見 泰志
【部の基本方向】 教育行政の基本理念である「豊かな人間性の育成」に向け、「学びと実践があふれるまち」をテーマに、学校教育と社会教育が連携・融合して各施策の展開を図ります。	
【部の重点方針】 1 子どもたちの夢の実現に向けた学校教育の充実に努めます。 2 学校と地域との連携・協働を推進し、子どもたちの生きる力の育成に努めます。 3 地域の課題を把握し、学びと実践による地域づくりに努めます。 4 学校教育と社会教育の連携、学校・行政・市民との協働に取り組み、学校と地域が互いに高めあえる環境を整備します。	
【課の目標（達成すべき目標）】 【教育総務課】  1 子どもたちが快適な学習環境で教育が受けられるよう、学校の再整備・再配置に向けた取組や、学校施設等の計画的な整備及び改修を進めます。 ・西武中学校の旧校舎等の解体工事を引き続き実施し、令和9年度からの新校舎等の建設開始に向けて準備を進めます。 ・宮寺・二本木地区小学校については、統合校の建設に向けて基本構想・基本計画を策定するとともに、学校統合委員会を開催し、地域と連携して統合に関する調整を進めます。 ・児童生徒の快適な学習環境の整備と避難所としての防災機能強化を目的に、小・中学校屋内運動場のエアコン整備を推進します。 ・GIGAスクール構想における端末更新業務に取り組みます。	【目標の達成度合】

【学校教育課】



2 「心理的安全性」を基盤とした学校教育を推進し、学力の向上と定着を図るとともに、「子ども未来室事業」による、保幼小中の滑らかな接続並びに保健・医療・福祉・教育機関の連携を重視し、「豊かな人間性の育成」を目指します。

・子どもの発達段階に応じて、教師の指導中心の授業から子どもの学びを中心とした授業への転換を図り、児童生徒同士の聴き合う関係、考えを深め合う関係を高め、仲間の力を借りて自らの学びを深める「学び合い学習」を推進し、学力の向上と定着を図ります。

・GIGAスクール構想に基づき、タブレット端末等を活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実を図り、児童生徒の学力向上に努め、埼玉県及び全国学力学習状況調査において正答率の向上を目指します。

・関係課・多業種・多職種との連携・協働を一層強化し、保健・医療・福祉・教育が有機的に結びついた重層的な支援体制（ミルフィーユ型支援）を構築することで、子ども一人一人のライフステージを通じた切れ目のない、のりしろのある支援を実現します。

・幼稚園・保育所（園）への巡回支援、幼児通級指導教室（茶おちゃお）における個別指導、並びに特別支援学級・通級指導教室（情緒・ことば）における教育活動のさらなる充実を図り、すべての子どもが自分らしく育つ環境を整えます。

・臨床心理士・作業療法士等の専門職による各小中学校への年3回の巡回支援を実施し、多職種が連携した切れ目のない支援体制を構築することで、不登校の未然防止を強化します。

・地域とともにある学校づくりを目指し、全中学校区においてコミュニティ・スクールの充実を図ります。また、地域学校協働活動の活性化に向けて、地域学校協働活動推進員との連携・協働を進めます。

【学校給食課】



3 安心・安全で手作りのおいしい学校給食を安

定的に提供します。

・学校給食衛生管理基準に基づく給食調理を行い、安心・安全な給食を提供します。

・新学校給食センターの本稼働に向けて着実に準備を進め、2学期から運用を開始します。また、既存施設の解体工事に着手します。

・市制施行 60 周年記念事業「おめでとう給食を食べて、60 周年を祝おう」について、お祝い献立による「おめでとう給食」を提供し、幅広い世代に「入間市の給食」と「60 周年」を広く PR します。

・小学校の給食調理室へのエアコン整備について、引き続き教育総務課と連携し整備方法を検討します。



【社会教育課】

4 地域コミュニティづくり、まちづくりに寄与する多様な学習の場の提供に努めます。

・主催又は社会教育関係団体や大学等との連携により市民に学習機会を提供するとともに、学習成果を地域に活かすための事業を実施し、学習活動や地域活動への参画を促します。

(主催・共催・後援事業数：300 事業)

・人権問題講演会や人権啓発講座など、人権教育推進事業を実施し、市民の人権意識の高揚を図ります。

(事業数：10 事業)

・地域と学校を結ぶ地域学校協働活動を促進し、地域全体で子どもを育む学校づくりを進めるとともに、学校を核とした子どもも大人も学び合う地域づくりに取り組みます。



【博物館】

5 市民の「心のよりどころ」となる博物館の実現を目指します。

・市制施行 60 周年を記念する「アリットフェスタ特別展」の開催や、指定管理者や地域、地元企業等と連携した事業を実施することで、市民へ学びの場を提供するとともに、博物館の賑わいの創出につなげます。

(利用者数 90,000 人)

・旧石川組製糸西洋館では、一般公開や魅力的

なイベントを市民と協働して実施するとともに、撮影等への貸出を行うことで、西洋館の魅力の発信と維持運営に必要な財源の確保に努めます。また、将来的な保存活用策の検討を進めます。

(入館者数：4,000人)

・旧黒須銀行の復元修理工事を完了させるとともに、竣工式をはじめとした開館イベント、一般公開等を、近隣及び地域と連携して実施することで、地域の活性化につなげます。

(イベント参加者：500人)

【図書館】



6 暮らしに役立ち、学びを支える身近な図書館の実現を目指します。

・図書館資料の充実を図り、魅力ある図書館づくりを推進します。

(資料蔵書数：580,000点)

(年間貸出点数：646,000点)

・近隣市との連携による図書館網の拡充を図ります。

(ダイア5市、青梅市相互利用者数：28,000人)

・令和9年度からの、本館を含めた指定管理者の導入に向けた準備を進めます。